



学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

ステップアップを目指し、感動あふれる二学期に！！

マナウス日本人学校 校長 中川 勝美

夏休み期間中は、大きな事件・事故の発生もなく、「おはようございます。」という子供たちの元気な挨拶で二学期のスタートを切ることができました。これもひとえに、保護者、日本文化振興会および関係機関の皆様のご支援、ご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

さて、世界陸上の熱戦に感動と元気をもらった方も多かったのではないのでしょうか。特に男子 4×100 メートル決勝では、ボルト選手のアクシデントがありましたが、日本チームは、銅メダルを獲得しました。日本選手全員が 100m で 10 秒を切れないという地力が劣る中、このような成果をもたらしたのは、高速アンダーハンドパスを究めた日本の技術力にあると言われていいます。そして、やはり「チーム力」の力でしょう。



なぜスポーツは、私たちに感動を与えてくれるのでしょうか。それは、これだけやったら勝てるという保証も何もない事に心血を注いで打ち込み、地味な努力を続ける選手。努力が結果として報われるのは、ほんの一握りの人です。それをわかったうえで日々挑み続けてきた選手の姿を想像して、その努力が実を結んだ時、つい感情移入して私たちは、胸が熱くなってしまうのでしょうか。言い訳のきかない一発勝負の「ストレスとプレッシャー」の中で、目標に向かって挑戦する選手たちの気迫と一生懸命な姿に感動するのだと思います。

さらに、リレーで証明されたように「集団の持つ力」です。一人一人は弱くても集団の持つ力によって引き上げられ実力以上の力が時として発揮できるのが、「チーム力」のすばらしさです。人間は弱くて一人では生きていけないから、時には助け、時には助けられ、お互いに支え合い、関わりを持ちながら毎日の生活を送っています。このなげない繰り返しのなかから信頼関係とともに優しさや人を思いやる心が生まれ、豊かな人間社会の実現が望めるのではないのでしょうか。

二学期には、アマゾン体験学習、水泳記録会、学習発表会、長距離走大会と大きな学校行事がたくさんあります。子供たちにとっては、一人一人が新たな目標を持ち、ステップアップを目指すとともに、力を合わせながら共通の課題を達成する喜びや充実感を味わえる絶好の機会となります。

二学期は、学ぶ学期として、目標達成に向けて継続した努力を続けるため、授業に向かう姿勢や家庭学習の充実を図る教育活動に取り組んでいきます。また、節目となる学校行事等を通じて、友の大切さに気づき、互いの喜びや悲しみを共有できる揺るぎない信頼関係を築いていきたいと思えます。

二学期も、子供たちのより一層の成長のため、ご支援ご協力をよろしく申し上げます。

新しい仲間ができました！～ようこそマナウス日本人学校へ～

二学期から、5名も新しい仲間が増えました。これから仲良く勉強や運動に、そして様々な活動や学校行事にと楽しく学校生活を送ってほしいと思えます。

- T.M (さん) 小学部 1 年
- Y.M (さん) 小学部 3 年
- M.I (さん) 小学部 4 年
- S.I (さん) 小学部 6 年
- T.I (さん) 中学部 2 年

全日コース 34 名、日本文化コース 14 名、合計 48 名となりました。

マナウス日本人学校の思い出を大切に新しい学校で新たな飛躍を！

8 月 23 日をもって N.I さんと T.I さんが転校しました。また、8 月 28 日には、T.H さんが帰国しました。

N さん T さん、T さん、日本人学校のみなが応援しています。転校先でもマナウスの太陽のような輝きと熱気で有意義な学校生活を送ってください。